

江東区協働事業提案制度 平成27年度実施事業報告書

江東区で実施している協働事業提案制度で、平成26年度に採択され、昨年度区と協働で実施した2事業について、各実施団体より受けました事業報告および江東区区民協働推進会議委員からの意見を報告します。

[目次]

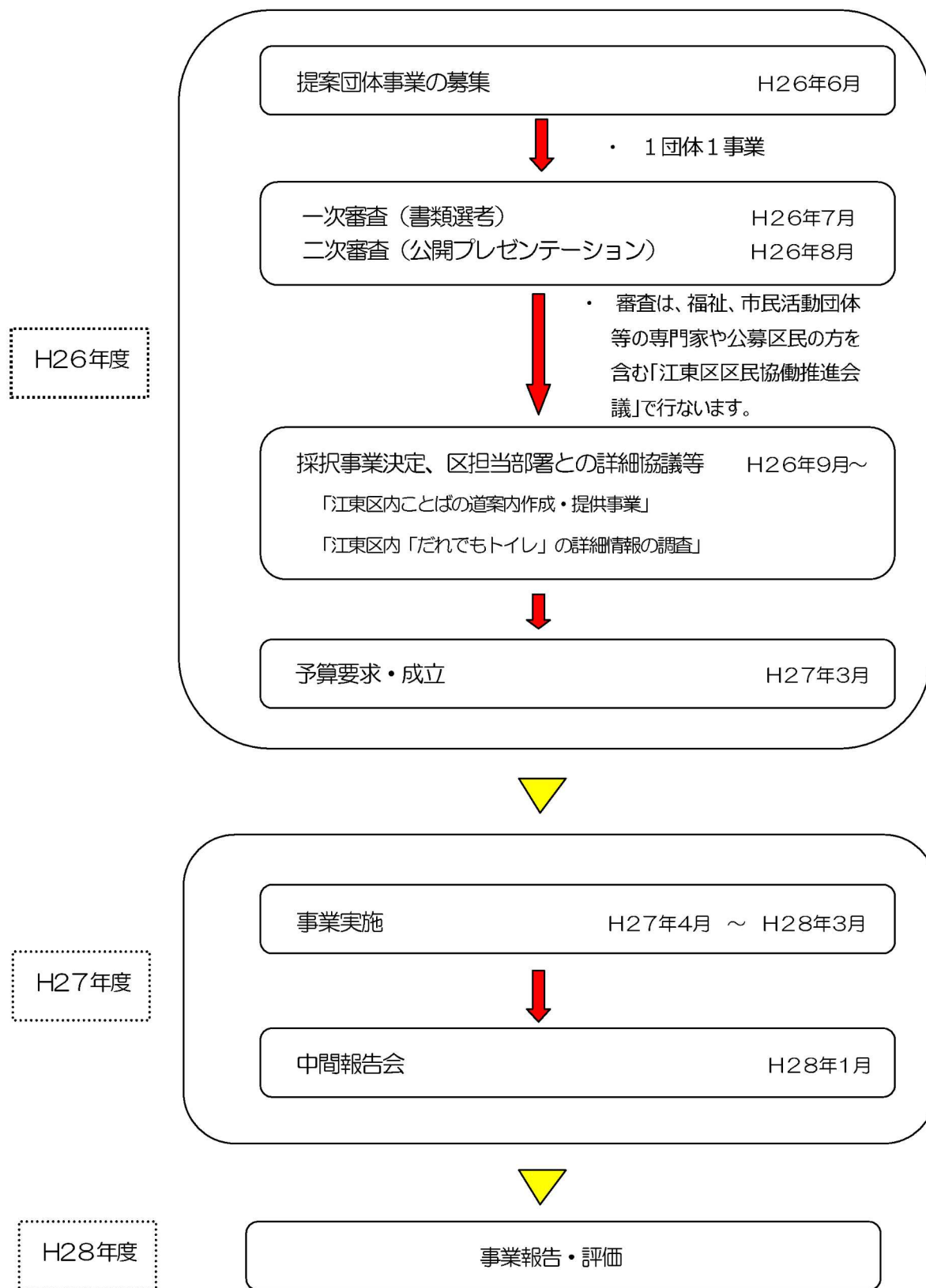
1. 江東区協働事業提案制度概要	…… 1
2. 平成27年度江東区区民協働推進会議委員名簿	…… 2
3. 協働事業結果報告書	
(1) 江東区内ことばの道案内作成・提供事業	…… 3
(2) 江東区内「だれでもトイレ」の詳細情報の調査	…… 7
4. 江東区区民協働推進会議委員意見書	
(1) 江東区内ことばの道案内作成・提供事業	… 28
(2) 江東区内「だれでもトイレ」の詳細情報の調査	… 29

江東区地域振興部区民協働推進担当

1. 江東区協働事業提案制度 概要

地域で活動する市民活動団体等の皆さんから、区と共に取り組むことで「こんな課題を解決できる」「よりよいまちをつくることができる」といったアイデアを、協働事業として募集します。

この制度によって選考され採択された事業は、提案団体と区が協議を重ね、協働により事業を実施していきます。



2. 平成28年度江東区区民協働推進会議委員名簿

学識経験者	◎安藤 雄太	東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー
	○辻 浩	日本社会事業大学教授
中間支援組織	枝見 太郎	財団法人 富士福祉事業団理事長
区民	楠木 恵美子	公募委員
	山西 絵美	公募委員
市民活動団体	本間 恵	特定非営利活動法人 NPO・えん
産業団体	谷口 理恵	東京中小企業家同友会 江東支部長
公益活動団体	根本 修	社会福祉法人 江東区社会福祉協議会 江東ボランティア・センター次長
	西谷 淳	公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団 管理課長
区職員	谷口 昭生	地域振興部長

◎…会長 ○…副会長

3. 協働事業結果報告書
 (1) 江東区内ことばの道案内作成・提供事業

平成28年 3月31日

江東区長宛

団体名 特定非営利活動法人 ことばの道案内

団体所在地 東京都北区

代表者職・氏名 理事長 押見 敏昭

協働事業結果報告書

平成26年度江東区協働事業提案制度採択事業の実施について、次のとおり報告します。

事業名称	江東区内ことばの道案内作成・提供事業
事業の実施期間	27年 4月 1日 ~ 28年 3月 31日
実施事業の概要	<p>IT機器の進歩により、多くの情報が提供されるなか、地図や画像の認識が難しい視覚しょうがい者は、一番必要な移動に関する情報提供が乏しい現状に、情報のバリアを感じています。</p> <p>※詳細については「具体的事業内容」に記入し、ここでは要約して欄内に収まるように記入してください。</p> <p>実際に、江東区内でのことばの道案内を情報提供している施設数がまだ少ない現状の中、江東区視覚障害者福祉協会から要望がありました。本事業では、障害者福祉センター等要望のあった道案内情報を作成し、音声対応したインターネット環境にて有益な情報として提供します。</p> <p>視覚しょうがい者のより安全な外出とその後の社会参加を支援し、社会福祉の増進と情報化社会の発展、地域の活性化に寄与することを目的として本事業を提案します。</p>
具体的事業内容	<p>江東区内ことばの道案内作成・提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標 福祉関連施設等へのことばの道案内作成・提供 (最低20ルート) ・成果 活動を通じてブラインドと健常者の相互理解や、ブラインドの外出選択肢の広がりにより、地域活性化に繋がります。 ・期間 27年4月~28年3月 ・従事者 ことばの道案内会員担当者 ・参加予定者 区内在住ブラインド、健常者、ボランティア他 ・人数 1ルートごとにおよそ延べ10人、1調査でブラインドを含め最低3名以上で調査します。 ・実施場所 江東区内全域 ・予算 176.5万円 (うち江東区負担金175万円、自助金1.5万円) <p>講習会、及び調査時の写真については 別紙資料1 を参照ください。</p>
※実施時期・従事者・参加者・実績などを具体的に記入してください。詳細を別紙として提出することも可能です。	

<p>事業の成果</p> <p>※この事業で取り組もうとした課題は、どこまで達成できましたか。</p>	<p>江東区視覚障害者福祉協会のメンバーから要望がありました、江東区総合区民センター・江東区文化センター・障害者福祉センター・江東図書館・ティアラ江東・江東区保健所他計10件36ルート作成できました。</p> <p>これは当初の目標であった最低20ルートを大幅に上回る結果となりました。ただし同じく要望がありました東陽福祉会館・塩浜福祉プラザ等の道案内の作成が出来なく残念な結果となりました。次回につなげたいと思います。</p> <p>調査の際、江東区視覚障害者福祉協会のメンバーから提案がありました、江東区社会福祉協議会（往復）江東区ボランティアセンター（往復）につきまして東陽町駅からのルートは遠いとの事で、新たにバス停からの往復に変更いたしました。地元参加者の声から変更しましたが、安全面も配慮しての決定となりました。</p> <p>27年度協働事業にて作成したルートをことばの道案内の検索WEBサイトウォーキングナビの特別行政版・江東区版（資料1参照）に公開することができました。すでに公開済みの18施設45ルートの公開となりました。</p> <p>http://walkingnavi.com/search.php?grp=10</p> <p>また、以下、障害者支援課のホームページからもアクセス可能となりました。</p> <p>http://www.city.koto.lg.jp/seikatsu/shogaisha/80015/97653.html</p>
<p>協働の効果</p> <p>※区と協働したことによって、どのような効果が得られましたか。</p>	<p>協働することにより、各施設との連絡調整の点で調査がスムーズにできました。また講習会の場所の確保などもスムーズにできました。</p> <p>目的施設までのことばによる道案内が提供されることで、主に視覚しょうがい者の外出に対する選択肢を増やすことで不安を解消することにも繋がります。</p> <p>ことばの道案内を無料で提供することによって、視覚しょうがい者のみならず、外出をサポートするガイドヘルパーの事前情報や、車いす利用の方にとってスロープやエレベーターの情報源としても入手できるようになります。</p> <p>また当事者に協力いただくことで、障害者の中で就労が難しいと言われる視覚しょうがい者にとって、社会参加は勿論、活動の対価として謝金を支払うことで雇用の一助ともなる事業です。</p>
<p>今後の活動展開</p> <p>※この事業で取り組んだ課題に対し、貴団体は今後どのような活動を展開していきますか。</p>	<p>28年度に委託での事業の継続が出来なかった為、一旦中止となりますが、道路状況の変化もあることから継続的にメンテナンスを行う必要があります。オリンピック・パラリンピック競技場までの新規道案内作成など含め、引き続き担当課と話を進めて参ります。</p> <p>また、メンテナンスに関する情報を道路保全部署などにも提供し、よりよい街づくりにつなげていけるような事業にして参ります。</p> <p>今後は、他区で始まった点字ブロック点検・検証・敷設地図作成についても提案をしていきたいと思っています。</p>
<p>自由意見</p> <p>※事業実施を通じて気づいたこと（新たな課題、実施体制、参加者の声等）を記入してください。</p>	<p>完成された原稿の公開について、各施設にリンクを貼って頂けるように広報広聴課をお願いをすでにしております。</p> <p>ことばの道案内の調査を区在住の視覚障害者福祉協会の方、在住のボランティアの方と今後も一緒になっての道案内が作成できるよう働きかけます。</p> <p>新規案内としては、オリンピック・パラリンピックをみすえて体育関連施設や観光施設は勿論ですが、他区でもはじまっている防災をテーマとした避難所などの施設も、情報保証として重要と考えます。</p> <p>また、点字ブロックの点検・検証を行い、摩耗・割れ・ガタツキ・敷設希望箇所等当事者とともに、担当関係部署に提案をして参ります。</p> <p>以上、参加者の感想については 別紙資料2 を参照ください。</p>

※ 事業の成果物（冊子等）、参加者アンケートの結果、写真など、提出できるものがある場合は添付してください。なお、ご提出いただいたものは返却できません。

資料1 写真

講習会 江東区文化センターにて



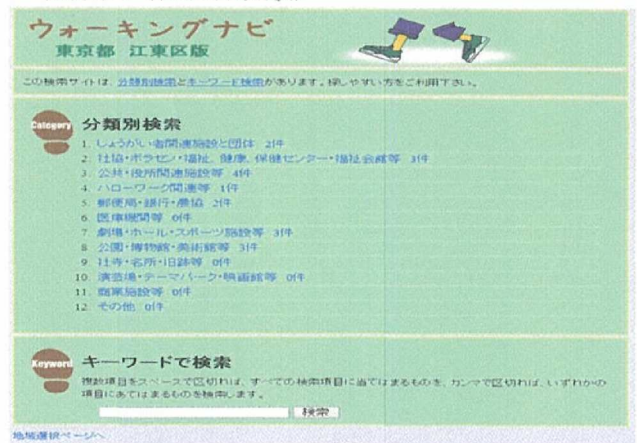
現地調査



原稿入力



江東区（特別行政版）



資料2 参加者の感想（いただいたままの文面を載せています）

[視覚障がい者]

・初めて言葉の地図の検証というのをお手伝いさせていただきました。想像した際には、単独歩行の訓練を受けたような感じなのかと思っていましたが、少し違って、不安な時間は全くないし、言葉の地図に従って歩いてみるといった感じのことで活動としてはわかりやすいように思いました。

できあがった地図を読むとずっと歩く際の光景（盲人の頭の中に想像される景色）が浮かぶようなのかと思っていたのですが、そうではなくて、実際に目的地に行くためのガイドブック、言葉の地図ということがよくわかったと思いました。

・「ことばの道案内」の作成の裏側を少しだけ知ることができました。

実際携わってみて、どの段階も一つ一つコツコツと地道に作られていくのだということがわかりました。調査したことを、的確に伝わるようことばにするのがとても難しかったです。

（どのように表現すればイメージしやすいのか？）携わったことで、出会いもありいろいろなお話を聞くこともできました。利用する当事者として少しお手伝いできたこと、うれしく思います。

自分が作った道案内が、最終的にどんな感じに出来上がって、アップされているのかも楽しみです。

・今回初めてことナビデータの現地調査に参加させていただきました。

とても驚きました。1か所のデータを3人もの人が確認してから初めて登録されるなんて思ってもみませんでした。視覚障害者にとってはことナビの地図は有るのと無いのでは大きな違いがあり調査に参加できましたことは大変うれしかったです。知らない地域は大変重要な情報だと思います。

[晴眼者]

・視覚障害者が歩行する際に、どのようなことに注意を払っているのか、どのような情報がひつようなのか、ということを開近にじっくり見学(?)することができました。今回の経験により、実際にスムーズな歩行をガイドする際に配慮すべきポイントについての理解が深まりました。

・同じ回に参加した区内のアクティブな視覚障害者と知り合えたことで、視覚障害者にかかわる活動の範囲が広がりました。実際、この出会いを機会に、資格だけだった同行援護の事業所に登録し、活動をスタートしました。

・ことナビでフォローされているルート情報が決定的に不足していると感じています。

潜在的なニーズは応えるためには、桁違いのルート数の充実を図ることやGoogleマップなどとの連携を含めた使い勝手の向上なども図る必要があると思いました。

・健常者ではなく視覚障がい者目線のサービスにこだわっているところが素晴らしいと思いました。計測においてはとても細かく丁寧なので正確で便利な信頼性の高いサービスだと思いました。そして驚いたことはその情報が古くならないように常に新しい情報を上書きしていることです。

このような地道な作業が何より大切なんだと思いました。

これからもこの活動が広がって、視覚障がいの方々々が自由にきまめに外出できるといいと思いました。また機会がありましたら参加させていただきたいと思います。

・ことナビへのお手伝いから、皆様の真剣な姿勢に先ず感慨を覚えました。最寄りの駅を背にして始まる一歩。白杖の方への大きな勇気を与えることと思います。

これからも駅の数をどんどん増やしてください。

私も皆様に教えていただいたことを、決して忘れることなく白杖のリズミカルな音を想像し、胸を膨らませたいと思います。ありがとうございました。

・どんなふう区域を分け、どんなふう出来上がるのか興味がわきました。次回もまたよろしくお願ひいたします。